

＝速報＝

“若手作家の登竜門”

現代美術の展望「VOCA展2018－新しい平面の作家たち－」

VOCA賞は、碓井ゆいさんに決定！

会期：2018年3月15日(木)～30日(金)／会場：上野の森美術館

VOCA展実行委員会および公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館は、このほど『VOCA展2018』(The Vision of Contemporary Art／特別協賛：第一生命保険株式会社)各賞の選考会を実施。出品作家34名による作品の中から、グランプリとなるVOCA賞に埼玉県在住・碓井ゆいさんの「our crazy red dots」が決まった他、下記の通り各賞を選出しましたのでお知らせします。

VOCA賞「our crazy red dots」は、クレイジーキルトの技法を用いて、日の丸のイメージを解体、再構成した作品です。歴史から現代までの政治的含意にも富み、その鋭い批評性が高い評価を受けました。

■VOCA賞

| 作家名 | 生年 | 現住所 | 作品名 | 素材 |
|-------------------|------|---------|--------------------|-----|
| 碓井 ゆい (うすい ゆい) | 1980 | 埼玉県春日部市 | our crazy red dots | 糸、布 |

■VOCA奨励賞

| 作家名 | 生年 | 現住所 | 作品名 | 素材 |
|---------------------|------|--------|-------|----------------------------|
| 藤井 俊治 (ふじい としはる) | 1983 | 滋賀県大津市 | 快樂の薄膜 | 油彩・アクリル・水彩・アルミ箔・雲母・ジェツソ、綿布 |
| 山田 七菜子 (やまだ ななこ) | 1978 | 大阪府堺市 | 礎 | 油彩、カンヴァス |

■佳作賞

| 作家名 | 生年 | 現住所 | 作品名 | 素材 |
|---------------------|------|---------|-----------|----------------------------|
| 梅沢 和木 (うめざわ かずき) | 1985 | 東京都三鷹市 | すべてを死のるのも | アクリル・画像・ラメ・ペン他、パネル |
| 森本 愛子 (もりもと あいこ) | 1988 | 神奈川県川崎市 | 唐草文様 | 天然顔料・天然染料・膠・金箔・銀箔、絹本 彩色 |

◇選考委員（上記各賞については、以下の選考委員により選考）

- 島 敦彦（選考委員長／金沢21世紀美術館館長）
- 光田 由里（DIC川村美術館学芸課長）
- 柳沢 秀行（大原美術館学芸課長）
- 小勝 禮子（美術史・美術批評）
- 水沢 勉（神奈川県立近代美術館館長）

■大原美術館賞 ※同美術館独自の選考を経て決定。

| 作家名 | 生年 | 現住所 | 作品名 | 素材 |
|---------------------|------|--------|-------|------------------|
| 浦川 大志 (うらかわ たいし) | 1994 | 福岡県宗像市 | 風景と幽霊 | アクリル・ジェツソ、綿布・パネル |

今開催で25周年を迎える「VOCA展」は、平面美術の領域で国際的にも通用するような将来性のある若い作家の支援を目的に1994年より毎年開催している美術展です。今回の『VOCA展2018』を含み、これまでに延べ855人の作家が出展し、ここから大きな躍進を遂げる作家を多く輩出しています。

日頃から親身で公平な立場で作家たちと接触している全国の美術館学芸員、研究者、ジャーナリストなどから推薦委員を選出し、それぞれ40歳以下の若い作家1名を推薦していただき、推薦された作家全員に展覧会への出品を依頼しています。こうしたシステムのため、東京だけでなく全国で活躍する作家たちにスポットがあたることが同美術展の特徴の1つです。

なお、これらの作品を一堂に展示する『VOCA展2018』は、2018年3月15日(木)から3月30日(金)までの16日間(開館時間：10:00～18:00／会期中無休)、上野の森美術館(東京都台東区)にて開催します。

※受賞作品、出品作家等の詳細情報については、追ってお知らせする予定です。

『VOCA展2018』出品作品一覧<作家34名/50音順>

| 作家名 | 生年 | 現住所 | 作品タイトル | 素材 |
|------------|---------------|----------|--|--|
| 會田 千夏 | 1980 | 北海道札幌市 | the fissure. 2017.11 | コンテ・顔料・木綿他、パネル |
| 芦田 なつみ | 1993 | 広島県広島市 | このきもちには名前がある | コマーシャルカラー・はとめ、塩化ビニール |
| 阿部 大介/鷹野 健 | 1977/ 1980 | 神奈川県相模原市 | 木の箱だったこと、大量にあること、瀬戸物をいれて運搬していたこと、アーティストのアトリエとなってからは邪魔になったこと、積み上げられて壁面として使われていること | 樹脂系エマルジョン、油性インク他 |
| 石井 麻希 | 1982 | ドイツ・ベルリン | Ay Waukin, O | 木・映像・モニター・布、アクリル板 |
| 碓井 ゆい | 1980 | 埼玉県春日部市 | our crazy red dots | 糸、布 |
| 梅沢 和木 | 1985 | 東京都三鷹市 | すべてを死るのも | アクリル・画像・ラメ・ペン他、パネル |
| 浦川 大志 | 1994 | 福岡県宗像市 | 風景と幽霊 | アクリル・ジェッツ、綿布・パネル |
| EKKO | 1982 | 埼玉県戸田市 | 1. Jump cut 2. かつて 3. ステビア | アクリル・油彩・鉛筆・色鉛筆・和紙、カンヴァス ※2,3は油彩なし、3のみビニール使用 |
| 小穴 琴恵 | 1990 | 埼玉県所沢市 | 1. 無題(室内の風景) 2. 無題 | 1. 油彩、カンヴァス 2. インク、紙 |
| 表 恒匡 | 1981 | 京都府京都市 | 上野の森美術館展示室4、展示室7 | アクリル、写真・額 |
| 川田 知志 | 1987 | 大阪府寝屋川市 | むこうの壁 | 1. 布・漆喰・顔料・膠・合成樹脂塗料、木材 2. 漆喰・顔料、木材 3. 漆喰・顔料・合成樹脂塗料、木材他 |
| 小泉 圭理 | 1985 | 東京都練馬区 | 右: え付け 左: え付け | 油彩・膠・ニス・釘、綿布・木 |
| 越 ちひろ | 1980 | 東京都渋谷区 | run after a shadow | 油彩、カンヴァス |
| 坂内 直美 | 1990 | 神奈川県相模原市 | 故郷 - 25 | 油彩、カンヴァス |
| 白井 ゆみ枝 | 1977 | 長野県上田市 | 右: うしろにとおく 左: そこなみ | 油彩、綿布・鉄枠 |
| 平良 優季 | 1989 | 沖縄県島尻郡 | nocturne | 岩絵具・寒冷紗・箔、麻紙 |
| 高田 安規子・政子 | 1978 | 東京都世田谷区 | ジグソーパズル | 古封筒 |
| 田幡 浩一 | 1979 | ドイツ・ベルリン | one way or another (white asparagus) | 油彩、パネル |
| 中山 恵美子 | 1988 | 東京都武蔵野市 | 1. 足跡 2. 資料(a~i) | 墨・アクリル・色鉛筆、和紙 |
| 野村 康生 | 1979 | 岡山県倉敷市 | Dimensionism - 両界 - | シリコン・偏光塗料・パール顔料・マーカー、パネル |
| BABU | 1983 | 福岡県北九州市 | LOVERS COVER | クローム(銀)・クリアー(透明保護剤)、カンヴァス |
| 林 葵衣 | 1988 | 京都府京都市 | Perspective of voice / 声の遠近法 | アクリル樹脂系エマルジョンペイント・口紅、パネル |
| 彦坂 敏昭 | 1983 | 京都府京都市 | Chadha Kulvinder Sigh 2016 NYK ORPHEUS | アクリル・色鉛筆・鉛筆・ペン・インクジェットプリント、カンヴァス |
| 百頭 たけし | 1980 | 栃木県佐野市 | 無題 | クリップ・ゴム・インクジェットプリント、合板 |
| 藤井 俊治 | 1983 | 滋賀県大津市 | 快楽の薄膜 | 油彩・アクリル・水彩・アルミ箔・雲母・ジェッツ、綿布 |
| 前川 祐一郎 | 1981 | 愛知県名古屋 | 1. column 2. unstable 3. elsewhere | 油彩、カンヴァス |
| 増子 博子 | 1982 | 岩手県一関市 | い 異果て | 製図用ペン・製図用インク、紙・パネル |
| 水江 未来 | 1981 | 埼玉県所沢市 | progress of humankind | フェルトペン、画用紙 |
| 森下 明音 | 1988 | 大分県豊後大野市 | 黄色い夜の音 | 色鉛筆、紙 |
| 森本 愛子 | 1988 | 神奈川県川崎市 | 唐草文様 | 天然顔料・天然染料・膠・金箔・銀箔、絹本彩色 |
| 門馬 美喜 | 1981 | 神奈川県川崎市 | 無題 | 墨、和紙・パネル |
| 山田 七菜子 | 1978 | 大阪府堺市 | 磯 | 油彩、カンヴァス |
| 吉田 志穂 | 1992 | 東京都杉並区 | 砂の上の鯨/波のあと | ラムダプリント・ゼラチンシルバープリント、額 |
| ワタナベ メイ | 1989 | 新潟県新潟市 | アイコン | アクリル・水彩・色鉛筆・パテ、パネル |

VOCA展実行委員会

- 委員長：島 敦彦（金沢21世紀美術館館長）
- 副委員長：武富 正夫（第一生命保険株式会社 取締役常務執行委員）
- 委員：光田 由里（DIC 川村記念美術館学芸課長）
柳沢 秀行（大原美術館学芸課長）
小勝 禮子（美術史・美術批評）
水沢 勉（神奈川県立近代美術館館長）
泉 菜々子（第一生命保険株式会社 DSR 推進室課長）
坂元 暁美（上野の森美術館主任学芸員）

《この件に関するお問合せ先》

| | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| VOCA展広報事務局(株)ジェーワン内／担当:野尻、久保 | TEL03-3584-4981 / voca_pr@jone.jp |
| 上野の森美術館(担当:坂元、大柳) | TEL03-3833-4191 |
| 第一生命保険株式会社(担当:泉、中村) | TEL050-3780-3639 |